

平成30年度 学 校 評 価(自己評価及び学校関係者評価) 定時制課程

	1	2	3	4
項目	学習指導について (授業研究等)	生徒指導について (基本的生活習慣等)	進路指導について (進路行事・進路情報等)	特別活動について (部活動や学校行事等)
今年度の目標	①新教育課程に伴う教育体制を検討する。 ②「個に応じた学習支援」を行うことで主体的に学ぶ姿勢を育成し、基礎学力の定着を目指す。 ③業務の効率化のため、年間指導計画や成績一覧表等の様式を見直す。 ④ミスのない入試業務のために、校内要項を見直す。	①基本的生活習慣の確立を図る。 ②ルールを自主的に守る心を育成し、マナーの向上を図る。 ③生徒同士、及び生徒と教師間の相互理解を促進する。 ④挨拶の励行。	①進学者に対する学習指導について教務と連携を図りながら指導する。 ②外部機関と連携し、就労率の向上を目指す。 ③進路学習と資格取得を通じて進路意識を高める。	①責任を自覚し主体的に行動する生徒の育成 ②学校行事の円滑な運営と内容の充実化 ③図書室の活用・読書の推進
実施状況・達成状況	①新教育課程説明会に参加し、積極的に情報を集めた。 ②教務内規を見直し、「個に応じた学習支援」を具体化した。 ③年間指導計画と成績一覧表等の様式を新しく作成し、使用を開始した。 ④前期選抜に関する校内要項を大幅に見直した。	①基本的生活習慣は、だいたいの生徒は身につけており、学校内の秩序は守られていた。しかし、一部に遅刻を繰り返すなど基本的生活習慣に課題を残す生徒も見られた。 ②今年度から校内のスマートフォンの使用を制限したが、ほとんどの生徒が規則を守って使用していた。 ③コミュニケーション不足の生徒は未だ見られるが、教員が生徒に積極的に関わることで、生徒に対する教師間の相互理解が図られていた。 ④今年度から生活委員を登校指導に加え、朝の挨拶運動を実施した。	①3年生については今年度進学希望者が6名だったが、学科試験がある生徒はいなかった。1、2年生については進路指導部として学習指導を実施してはならず、個別に教科担任の先生に依頼し、添削指導をってもらう形で実施した。 ②ハローワークやあきた就職活動支援センター等を活用して、職業講話や面接指導を実施した。2年生は7月にインターンシップを実施することができた。 ③特に、国語科、英語科、情報・商業科、家庭科において、各種検定に向けて丁寧な指導をしていただき、多くの生徒が資格を取得することができた。LHR・SSの時間に調べ学習や面談等を実施した。	①学校行事において、生徒役員が中心となって生徒一人一人が与えられた仕事に責任を持って取り組むことができた。部活動では、それぞれが目標をもって練習に励む様子が見られた。 ②強歩大会となべっこ遠足を、せんぼく校と合同で安全に実施することができた。 ③角高祭ではこれまでより準備時間が少なかったが、効率よく準備を進めることができた。 ④国語科の先生の協力により、授業での本のPOPを作ったり、文化委員が図書だよりを発行(4回)したりして読書の推進に努めた。
成果と課題	①新教育課程と「個に応じた学習支援」への対応について、上記のとおり具体的な前進があった。一方、これまでの指導体制だけでは対応できない部分もあるため、新しい体制の検討とこれまで以上の職員間の共通理解・協力が必要となる。	①今年度もSNSなどで小さなトラブルは生じている。今後もスマホ使用も含め、規則や規律の説明を丁寧に指導していくことが重要である。 ②教員間で情報交換がしっかりと行われており、問題を初期段階で解決することができている。今後も生徒と信頼関係を築きながら教師間の連携も図りたい。 ③挨拶などの礼法指導は今後も継続して行う必要がある。	①3年生はすべての生徒が進路目標を達成することができた。一方で、3年担任、就職支援員の負担が大きかった。 ②2年生は全生徒を対象としてインターンシップを実施した。参加した生徒は多くのことを学んだ様子である。不登校傾向がある生徒については、実施しようとしたが、途中でキャンセルしてしまった。 ③1年生はまだ進路希望が決まっていない生徒がいるので、今後の調べ学習や面談等を継続していく必要がある。	①先生方の指導により、部活動や生活体験発表など各種大会で生徒のめざましい活躍が見られた。普段目立たない生徒にも活躍する機会を与え、自己有用感を高められるように働きかけたい。 ②もっと生徒達が中心になって企画・準備・運営等と行い、達成感を得られるようにするために必要な支援をしていきたい。 ③昨年度よりも図書室の利用者が増えた(1月15日現在45冊)。しかし、昼休みの利用がまだ少ないので、定期的に図書だよりを発行するなどして、利用を促したい。
評価	A	B	B	B
次年度への提言	①「多様化する進路目標」と「個に応じた学習支援」を踏まえた新教育課程を設定する。	①基本的生活習慣がまだ身につけていない生徒も見られるので、次年度も重点目標とした方がよい。 ②問題行動は減少したが、生徒個人が様々な問題を抱えていることから、中学校、保護者、関係機関との連携を図りながら生徒を支援する体制を継続していきたい。 ③挨拶などの礼法指導は継続して指導することが望ましい。	①来年度、火振りかまくらの前日に観光協会の作業がなくなる可能性があるため、その場合はこれに代わるボランティアを実施する必要がある。4～5月の花見シーズンにクリーンアップを行ってはどうか。 ②2年生のインターンシップは原則として全員参加という形で、不登校傾向がある生徒は除いて実施してはどうか。(ただしそれに代わるような体験学習は別の時期に行うべきだと考える。)	①部活動(運動)に参加できない生徒にも役割を与え、生徒・職員に説明していく必要がある。 ②図書だよりの発行、新聞の掲示を文化委員会の仕事として位置づけたい。 ③今後も各教科担任の先生に図書室の積極的な活用をお願いしたい。
学校関係者の御意見・御感想	・個々に応じた学習支援がなされており、体制整備が進められている。 ・定時制は学力差が大きいと知る。教室での学習指導は苦戦が想定される。H30は進路が全員早期に確定している。学校の教育は良き方向にあり評価できる。保護者の満足度は低いが期待値と理解する。 ・人数は少なくても、一人一人に合った指導を心がけていることに感謝します。 ・指導内容を工夫されているのが拝察されます。個々の生徒に合った指導がしやすい環境だと思うので更なるレベルアップを期待します。 ・生徒の満足度が高いので、引き続き対応していただきたい。 ・様々な生活環境に合わせて対応している柔軟なところが生徒のやる気を伸ばしている。	・一部生徒の遅刻等が見られるようだが、概ね基本的生活習慣が確立されておりルールとマナーも守られていると思われる。 ・数値では昨年と大差ない。職員と保護者の数値に開きがある。これは二者の情報周知・コミュニケーション不足が考えられる。一因に一部保護者の出席不足があげられるのか。引き続き良好状態に期待。 ・支援校の児童・生徒と共に地域に関わっていただきありがとうございます。同窓会の高齢者の願いに温かく応じていただいたホットなニュースも会報に載せていただきました。 ・不登校の生徒が出ないように御指導頑張ってください。 ・アルバイトをしている生徒について、学校の規則を厳守するように御指導いただきたい(就業時間等)。 ・少し前の時代には思いもつかないことが起きている世の中。学校側の対応も大変なことだと感じました。	・3年生の進路希望が全て達成されるなど、大きな成果を挙げている。 ・H30は好結果でうれしいことである。教育は良好であると判断できる。保護者対職員は数値差が大きい。トータルで34名がC、D、Eを選択。内1年生が半数を占める。但し、学校経営の項目ではこの傾向はなく、大きな問題は無いと想定する。 ・きめ細かな指導をなさっていることに感謝します。様々な事情を抱えている生徒に対応してくださっているようで、先生方の御苦労が伝わってきました。 ・1年生の時から三者面談を実施するなど連携を深めていただきたい。 ・進学も可能であることも日常の学校生活で御指導いただきたい。 ・入学してすぐ将来に向けての指導が身に付き結果が出てきていると思いました。	・生徒の自発的・自治的活動が活発に行われ、諸活動で生徒一人一人が活躍の場を得ている。種々の大会の成果も素晴らしい。 ・三者の評価差が最も少ない。良好に機能していると評価したい。現代社会では学力を上げることは昔流に言えば立身出世への道、欲しいものが手に入る面を持つ。それに対し学校での生徒会活動、イベントや文化活動は協力・奉仕・コミュニケーション等豊かな人間社会を形成する人格構築の基礎を包含している。学校生活ではこのことにより重点を置きたい。付け加えると、社会的地位の高い職種の方々の不正や虚偽が多すぎる昨今である。 ・バドミントン・卓球等素晴らしい活躍でした。図書室の利用も多くなり、それぞれ工夫して運営されているようです。 ・図書だよりを発行する際には、内容を工夫し、図書室の活用と読書の推進を図ることを期待します。 ・生徒が楽しく活動し、良い成績を収めている。 ・ますますの活躍を期待しております。
評価	A	A	A	A
学校運営全般・その他に関する学校関係者の御意見・御感想	・学校評価資料・アンケートを拝読し強く思うことは、生徒の学習環境が我々の時代と比較できないほど向上している。芸術部門も設定されている。うらやましい限りである。教師も多く揃い、生徒が向上心を持って豊かな人生が待っていること間違いのない学び舎である。また、独立校舎には大曲支援学校せんぼく校と共有部分があり、各々環境の違う生徒が触れ合い視野を広めあえる機会は大きな成長の体験と捉える。昨今社会的地位の高い方々の不正虚偽が多すぎると感じる。角高定時制の生徒には人にも自分にも嘘をつかず、学習、また生活において楽しく明るく正面を向いて歩いていただくことを祈る。 ・保護者は生徒の学校生活の様子や学校の取組についての情報を待っています。スピード感をもってタイムリーにお便りやHPで情報発信をして欲しいです。そうすれば、アンケートがより答えやすくなると思います。 ・定時制と大曲支援校せんぼく校との交流を継続してインクルーシブ教育の先駆者となってもらいたい。			